

【第2場 忘れられたクリスマス】

時刻は22時。ホテル業務のピークは過ぎて退勤準備をする従業員も。
バックヤード。一輝と彩子がいる。

彩子 どうしたいのよ??

一輝 だから何度も言ってるじゃん、やめたいんだって、この仕事。
彩子 そのあとの話よ。やめてどうしたいのって聞いているの。

一輝 ……とくに決めてないけど。

彩子 じゃあダメね。

一輝 やめてから決めるで良いでしょ?

彩子 ダメ。どうせまたエブリデイホリデイのニート生活に戻るだけじゃない。
一輝 自分で言うのもアレだけど、俺、結構がんばったよ?

ここ来てもうじき1年だよ?十分働いたよ。

彩子 エラいね、立派だね。でもダメ!

一輝 なんてだよー。

翔平、やってきて。

翔平 お疲れさまでえす!

あらー、オーナー、まだいらっしやったんですかあ?

彩子 翔平くんからも言っちゃってよー。

翔平 なんですか??

彩子 またやめるとか言ってるのよ。

翔平 あらら。(一輝に) おいおいおいー、そんなこと言うなよー。

一輝 一輝がいなくなったら寂しいぜ？俺達、親友だろ？

一輝 親友？？

翔平 ああ。(しみじみ) 1年前、一輝がこのホテルにきて、

それから、一緒に仕事して……。うん。親友じゃないか。

一輝 親友のボーダーが低いぞ。

彩子 泣ける。

一輝 なんでだよ。

翔平 (一輝に) つかさ、やめてどうすんの？

彩子 そうーそこなの！

私はね、別にね、ここで無理に働くことないと思うの。

他にやりたいことがあれば、ねっ。

ごもっともでございますー。

翔平 じゃあ、レストランで働いてみる？イタリアンのお店、紹介しようか？

彩子 一輝 そこ、オーナー、母さんでしょ？

そうよ。他には、ケーキ屋さんもあるわよ？

彩子 あ、アパレルは興味ない？アパレルってのは服屋さんのこと。

知ってるよ！その服屋も母さんがオーナーだろ？嫌だよ。

翔平 (彩子に) 色んなお店お持ちで、さすがですっ。

じゃあ、いわゆるサラリーマンでもなってみる？

一輝 絶対向いてないよ。

彩子 公務員は？警察官とか！

一輝 正義感無いもん。

翔平 陶芸家！

一輝 図工とか苦手だったから。

彩子 美容師は！

一輝 無理無理。

翔平 イタコ！

一輝 そんな能力ないからなあ。

彩子 保育士！

一輝 子供苦手なんだよなあ。

翔平 ひよこ鑑定士！

一輝 (翔平に) さっきからなに！？

イタコとか、特殊な職業ばっか！なんだよひよこ鑑定士って？

生まれたばっかのヒナの性別を鑑定する立派な職業だぞ？馬鹿にすんな。

一輝 馬鹿にはしてない！

とにかく！俺の人生は俺が決める。好きにさせてくれ。

…… (彩子に) 厨二病ですね。

翔平 うるさいなあもう！

だいたい、お前、年下だろ？あんまり年上をおちよくるな！

翔平 ここでは俺の方が先輩さんだからっ。

彩子 そうよ、先輩さん様よ？

先輩さん様ってなんだよ。さんと様がダブっておかしな意味になる――

彩子 (一輝をさえぎって) あ、そうそう。そっぴいばあ。

一輝 ちょっとさえぎらないで。

彩子　どんな感じ？クリスマスは。

翔平　クリスマスですかー。

彩子　ま、恋人とかいけば、一緒に過ごしたりしたいんですけどねー？。(笑)
違うわよ、ここよ。ここでどんなことするのよー。

△ッシー(虫島)に聞いても教えてくれなくてさー。

翔平　…ん？なんのことですか？？

彩子　え？？なんのこって、知らないの？？

と、そこへ虫島が慌ててやってくる。

虫島　まあまあまあまあーめえめえめえめえー！

彩子　ヤギ？？

虫島　もうその話はいいじゃないですかあー！

彩子　よくないわよー、大事な行事なんだからさー。

虫島　バッチリだっべですからー！！任せてくださいー！

彩子　どんなことするのー？教えてよー。

虫島　それはもう、すんげーことです！すんげーことやりますから！

彩子　すんげーってなによ？？

虫島　すんげーは、すんげーです！

当日をお楽しみにということー！

お疲れさまでしたー！(無理やり帰そうとする)

彩子　ちょ、ちょっとなに？？

虫島　これからみんなで準備をいたしますので！

今日はどうぞどうぞお帰りくださいー！（無理やり帰そうとする）

虫島、かなり強引に彩子を帰す。（舞台袖へ）

虫島、息を切らしながら戻ってきて。

虫島 ……っべ…！っべ…っべ…！（やっべ）

翔平 支配人。クリスマスって??

と、このタイミングで。

あたる・友美・望が業務を終えてやってくる。

一同 （口々に）お疲れさまです。

虫島 （全体に）み、みなさん！ちよいと、よろしいでしょうかなぁ??

あたる …??なんですか??

虫島、一同に、事情を説明する描写。